

## 第55回 中部一線美術展を終えて

中部支部長 池田 くみ子

- 会期……2023年3月28日(火)～4月2日(日)
- 会場……名古屋市民ギャラリー・栄
- 出品者……15名
- 出品点数…29点
- 来場者数…630名

今年も桜満開の頃 名古屋市民ギャラリー・栄で第55回中部一線展を開催することができました。本部の先生方のご尽力とご指導に感謝いたします。

今回から事務局が加藤絹子さんに代わり、高齢化による会員減少に新たな流れを作ろうという強い思いがありました。結果として…作品に興味を持たれたお客様から「出品してみようかな?」と熱心にお話を聞かれる姿に心動かされる場面が何度かあり、手応えがありました。



入場者数も昨年より5割増加、マスク着用は必須ですが、日常の活気を取り戻しつつあるのを感じました。

搬入後の会員同士の研究会で互いに作者の制作への思いを知ることができた事、会期中の愛知支部の先輩方の丁寧な指導を頂いたこと等々、今回の展示で会員一同、今後の制作の喜びと意欲に繋がったと確信しております。尚、活動の様子など、中部一線HPもご覧頂ければ幸いです。



## 中部一線美術会 春の写生会 三島池 (滋賀県)

中部支部長 池田 くみ子

- 開催日…令和5年3月6日(月)
- 場所…滋賀県米原市 三島池
- 参加人員…6名

「残雪の伊吹山を描こう!」ということで、今年の写生会はいつもより早い三月初めの開催となりました。

まだ寒い時期に寒い所ですし、未だコロナの心配も拭いきれない現状の為、参加者は6名と少なかったですが、当日は欠席者もなく、幸いにも風も雲もない暖かい好日となり 無事に楽しく終えることができました。

残念ながら山頂の雪は随分とけてしまいましたが、雄大な伊吹山の見える静かな三島池畔で 皆それぞれ好みのポイントを見つけ 黙々とスケッチに集中し、早春の大自然をしっかりと焼き付けられたことと思います。

最後に駐車場で講評会をし 帰路 道の駅で草餅や山菜等その土地ならではのお土産を買い 予定通りに帰着。年2回の写生会で慣れたものです。

それにしても…痛感するのは高齢化による体力の衰え…今後の写生会は安全や利便性を重視し、行先をしっかりと検討しなければ!

